

チャペル週報

No. 14

2014. 7. 7 ~ 7. 18

神はすべてを時宜にかなうように造り、
また、永遠を思う心を人に与えられる。

(コヘレトの言葉3章11節)



西宮上ヶ原キャンパス ランバス記念礼拝堂

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

-
- 7月7日(月) 神 <説教学演習A> 梅 崎 須磨子 (神学研究科M1)
 経 舟 木 謙 (宗教主事)
 人 坂 口 幸 弘 (人間福祉学部教授)
 聖和 聖書物語 エリヤの弟子エリシャ
 理 キャンパス自立支援室
-
- 7月8日(火) 神 土 門 稔 (神学研究科M2)
 文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
 社 「自由」をめぐる⑦ 荻野 昌 弘 (社会学部長)
 法 音楽賛美シリーズ3 ゴスペルクワイア “P.O.V.”
 経 嶺 重 淑 (人間福祉学部宗教主事)
 商 English Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
 国 平 林 孝 裕 (宗教主事)
 聖和 山 本 健 治 (教育学部副学部長)
 総 鎌 田 康 男 (総合政策学部教授)
-
- 7月9日(水) 神 神学部教員による連続チャペル「伝道者教育の現在」土 井 健 司 (神学部教授)
 社 Chapel in English Rev. Paul Tolhurst (Anglican Priest)
 法 English Chapel Jeffrey Mensendiek (Christian Center Chaplain)
 経 舟 木 謙 (宗教主事)
 商 山 本 俊 正 (宗教主事)
 人 河 鐸 一 彦 (人間福祉学部教授)
 国 丸 楠 恭 一 (国際学部教授)
 聖和 Ruth M. Grubel (院長)
 理 ALL讚美歌プログラム(1)
 総 松 尾 歩、妙 木 彩 夏 (総合政策学部3年)
-
- 7月10日(木) 神 ハンドベルクワイアによる音楽礼拝
 文 春学期終了チャペルパーティ
 社 学期末にあたって 打 樋 啓 史 (宗教主事)
 法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)
 経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
 商 田 淵 結 (教育学部宗教主事)
 国 English Chapel Eun Ja Lee (宣教師)
 聖和 聖和JAZZ礼拝 竹 中 真
 総 村 瀬 義 史 (宗教主事)
-
- 7月11日(金) 院 Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)
 神 「震災を覚えて」礼拝② 神学部メガホンプロジェクト
 文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
 経 栗 林 輝 夫 (法学部宗教主事)
 人 徳 田 真 二 (総合支援センター職員)
 聖和 みんなで音楽! ホイッカーズ
 理 ALL讚美歌プログラム(2)
-
- 7月14日(月) 神 <説教学演習A> 武 久 盾 (神学研究科M2)
 経 夏休みを前に 利 光 強 (経済学部長)
 人 室 田 保 夫 (人間福祉学部長)
 聖和 聖書物語 ヨナの物語
 理 ALL讚美歌プログラム(3)
-
- 7月17日(木) 聖和 「125周年のお祝い」 田 淵 結 (教育学部宗教主事)
-
- 7月18日(金) 聖和 「ねこのピート」を読んで歌おう 小 見 のぞみ (聖和短期大学宗教主事)
-
- ◇ランパス早天祈祷会 毎金曜日 8:00～8:20 ランパス記念礼拝堂(上ヶ原)
 7月11日(金) 中学部のために 安 田 栄 三 (中学部長)
-

クスノキを見て想う

Jeffrey Mensendiek

ランバスチャペルに出入りする人は大きなクスノキの下を通ります。毎週金曜日の朝に行われる早天祈祷会のときも、宗教センターが支えている学生音楽団体の「ヌーンコンサート」のときも、月に一度、夕暮れどきに行われるテゼの祈りのときも。わたしはこの春、関西学院に来たばかりですが、何度となくランバスチャペルに足を運びました。静かに美しく広がる木の枝はまるでわたしたち一人一人を祝福しているかのようです。

この木は樹齢何年だろう？宗教センター職員に聞いてみると「これは関西学院が1929年に上ヶ原に移転した時に、地域の大地主で果樹園【甲東園】を営んでいた芝川又右衛門さんが喜寿の記念に際して関西学院に七十七本のクスノキの苗を贈呈した。」と教えられました。確かに、ランバスの周りにはいくつものクスノキがあります。「保護樹木」と指定を受けている大きなものもあります。【甲東園】のオーナーが実に大きな夢のあるプレゼントをしてくれたことに感謝します。85年の時を経てこの木々は私たちを今も祝福しているのですから。

更にクスノキを観察してみると、太い横枝に何やら別な植物が生えてきているのが分かります。どうやら、この植物はノキシノブという着生植物のようです。着生植物というのは寄生植物とは違い、樹木から栄養を奪わず、樹木に生える苔に着生して育つとのこと。たくましいノキシノブは、ちょっとした隙間を利用して命を咲かせているのです。さらにクスノキの足元には、根っこを守るためにオカメザサが植えられています。この季節、笹は天を力強く指して一斉に伸びています。

吉岡記念館の宗教主事室から学生さんたちの活動を見ていますと、実に豊かで命に満ちています。献血週間を呼びかける宗教総部の学生たち、美しいハーモニーを織りなす音楽団体の皆さん、学部チャペルを支えるためにレッスンを重ねるオルガニストの学生たち。彼らを見てるとある知人の言葉を思い出します。We live to make life beautiful for others. (自分が生きるのは人の命をより美しくするため)。クスノキもきっとこの言葉にうなずいてくれるでしょう。「息あるものはこぞって、主を賛美せよ。」(詩編 150 編)

(宗教センター宗教主事)

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを実施します。(18:00～18:20 1405教室)

主 題:「夏休みを前にして」

7月10日(木) 山本俊正(商学部宗教主事)

7月17日(木) 舟木 讓(大学宗教主事)

●関西学院会館の日曜礼拝

授業期間中の第二・第四日曜日に、教職員と学生有志による礼拝が行われます。一部英語を用いるバイリンガル形式です。どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

7月13日・27日(日) 10:00～11:00

関西学院会館ベーツチャペル

●関西学院チャペル・オルガニスト秋の発表会

各学部のチャペルで奏楽を担当するチャペルオルガニストはじめレッスン生たち46人が練習の成果を披露します。パイプオルガンに関心のある方、そしてランバス記念礼拝堂に入ったことのない方もお気軽にお越しください。演奏中以外は入退場自由です。

と き:10月4日(土)10時～16時

と ころ:ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

指導者:太宰まり、能島亜未、坂倉朗子、西山聡子

主 催:宗教センター

●ランバスチャペルアワー

学生たちが企画するチャペルです。秋学期の予定は以下のとおりです。

10月21日(火)

11月18日(火)

ランバス記念礼拝堂(上ヶ原) 10:35～11:05

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室内の宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室ははじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。

春学期の「チャペル週報」は本号が最終号となります。授業期間中毎週月曜日発行の本紙には、各学部のチャペルスケジュールほか、教職員によるエッセイなどを掲載しています。この欄は執筆者の手柄や読者へのメッセージに触れることが出来る場です。各学部のチャペルとともに、あなたの心に何かを残すことができれば幸いです。

秋学期の発行は9月22日(月)からです。よい夏休みを!